



～ 学校教育目標 ～

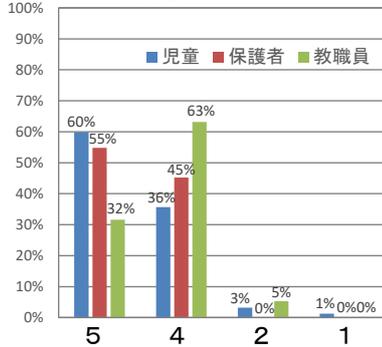
- よく考え、意欲的に学ぶ子
- 命を大切にし、たくましくやりぬく子
- 豊かな心を持ち、協力し合う子
- 勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO. 21 令和7年10月3日発行  
校長 黒島 俊一  
(学校評価担当 主幹教諭 飯田 忍)

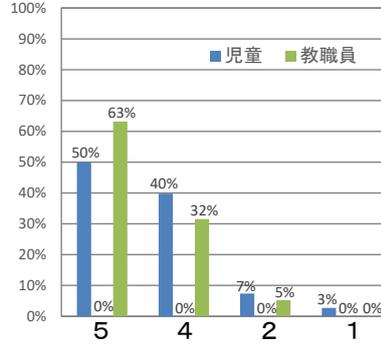
## 学校評価アンケートの結果と考察

1学期末に実施しました本校の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。結果とその考察についてお知らせします。

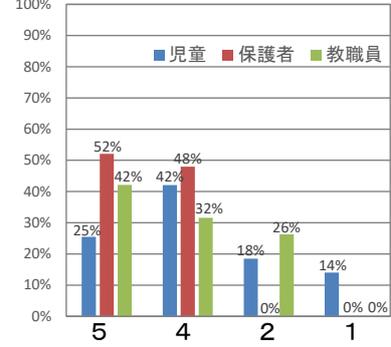
①担任やTT、専科教諭は、楽しくわかりやすい授業を行っているか



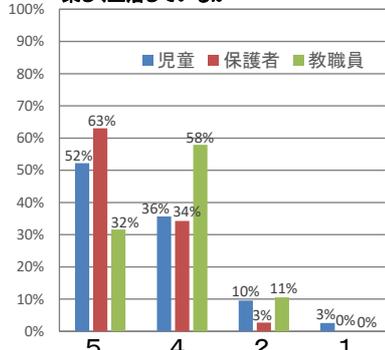
②学校は、児童が日常的にタブレット端末を効果的に活用する授業を行っているか



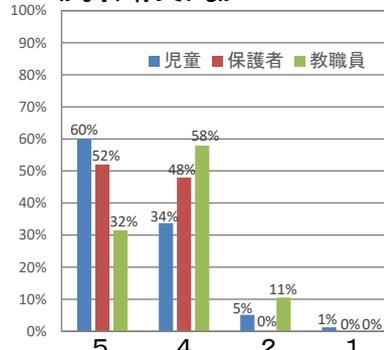
③学校は、宿題や家庭学習などの習慣の定着・向上に向けて取り組んでいるか



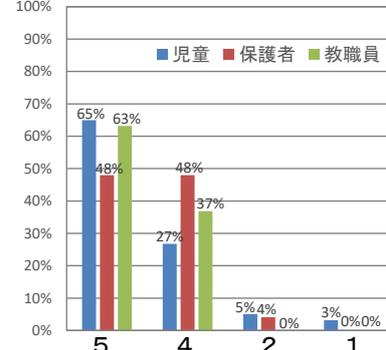
④子どもたちは、学級や学校で安心して楽しく生活しているか



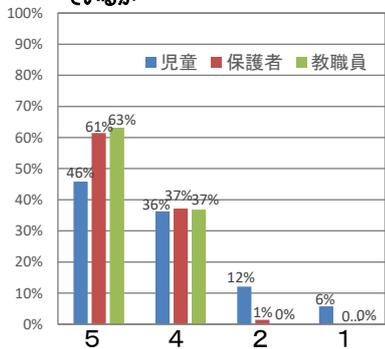
⑤子どもたちは、思いやりがあり、心豊かな子に育っているか



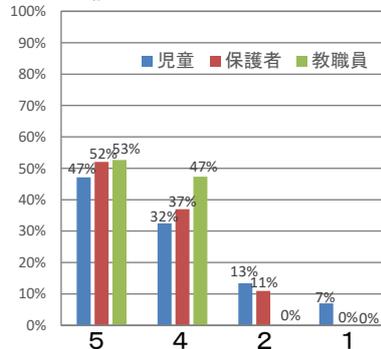
⑥学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応しているか



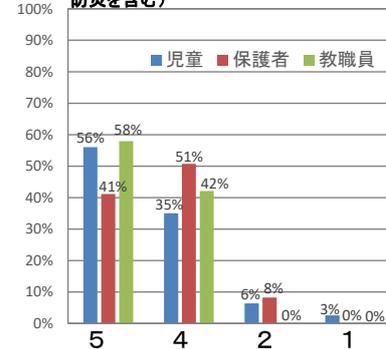
⑦学校は、子どものよさや頑張りを認めているか



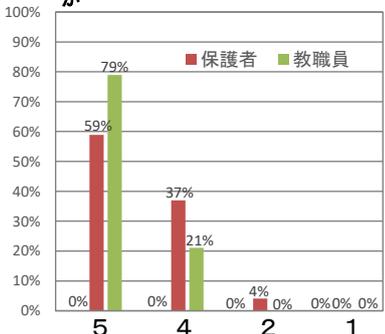
⑧子どもたちは、健康に気を付け、進んで運動しているか



⑨子どもたちは、自分の命を守るために必要な行動を身に付けているか(交通安全・防災を含む)



⑩学校は、家庭や地域に学校の方針や子どもの様子をわかりやすく伝えているか



5 = 十分達成されている  
4 = ほぼ達成されている  
2 = やや不十分である  
1 = 不十分である

実施日：令和7年7月  
回答数：保護者 73名 (53%)

- ・児童へは同じ観点の質問をわかりやすい言葉に置き換えて実施しています。
- ・②は児童、教職員のみ、⑩は教職員、保護者のみ質問しています。
- ・考察につきましては、裏面をご覧ください。

本校は、今年度より「北海道教育委員会『学校力に関する総合実践事業』」に指定されており、全教職員が丸となって包括的な学校改革に取り組んでおります。皆様から寄せられる率直なご意見・ご感想は、学校力向上を図るうえで大変貴重な資料となっております。後期の学校評価はぜひ全てのご家庭にご回答いただきたいと思います。ご協力をお願いいたします。また、現在「帯広小学校学校教育目標」の改定を検討しております。その際には、この学校評価の結果も参考資料の一つとして活用させていただきます。

## 各項目の評価から見えてきたこと（考察）

項目	<b>経営の重点</b> 学ぶ喜びと笑顔あふれる学校(ウェルビーイングの実現) ～子どもの力、教員の力、家庭地域の力 三方の高まりと融合～
① ② ③	<p><b>【確かな学力の定着】(知) 子どもが主役の授業づくりから</b></p> <p>◇「担任や TT、専科教諭は、楽しくわかりやすい授業を行っている(グラフ①)」では、児童・保護者・教職員のいずれも 95%を超える肯定的な回答が得られました。タブレットの活用や専科による専門的な授業の推進により、主体的・協働的な学びが広がっていることがうかがえます。今後は、学級担任はもとより、すべての教員が授業改革の視点(問題の読み取り、挙手の頻度、既習事項、考える時間の保証等)を意識しながら指導方法の工夫・改善を図り、児童一人一人の学びの質をさらに高める工夫をしてまいります。</p> <p>◇「学校は、宿題や家庭学習などの習慣の定着・向上に取り組んでいる(グラフ③)」では、保護者から 100%の肯定的なご回答をいただき、学校の取組をご評価いただいております。昨年度から始めたタブレットを活用した新しい宿題の形も定着し、学級内では手本となる児童の自主学習ノートを紹介したり、具体例を示したりするなど、教員が工夫を重ねながら児童の意欲を引き出しています。一方で、児童や教職員の中には否定的な意見も見受けられます。そのため、校内での状況を確認し現状を把握した上で、ご家庭とも連携を取りながら、児童一人一人に合わせた学習習慣の定着と向上を目指して取り組んでまいります。</p>
④ ⑤ ⑦	<p><b>【豊かな心の育成】(徳) 自己有用感・自己肯定感の醸成から</b></p> <p>◇「学校・学級生活の楽しさや安心感(グラフ④)」「豊かな心(グラフ⑤)」「自己有用感・他者からの評価(グラフ⑦)」については、児童・保護者・教職員いずれも 90%前後の肯定的な回答が得られました。教職員の言葉かけや児童のよさを認める取組が、安心感や自己肯定感の向上につながっているものと思われまます。一方で、「他者からの評価(グラフ⑦)」では 18%の児童が「(やや)不十分である」と回答していることから、今後は、児童一人一人の気持ちに寄り添い支えることに加えて、児童の努力や成長を具体的に認めたり、考えや意見を自由に表現し失敗を恐れずに挑戦できる環境づくりを行ったりするなど、安全・安心な風土の醸成を重視した学級経営に努めてまいります。</p> <p>◇「いじめ対応(グラフ⑥)」については、児童・保護者・教職員ともおおむね高く評価されています。管理職への報告や放課後の保護者対応を丁寧に行い、迅速な情報共有により学校全体で組織的な連携が進んでいます。また、児童の様子で気になることがあれば、速やかに聞き取りや家庭連絡を行い、適切に対応しています。今後も、すべての児童に対して言葉をかけ、心に寄り添い、手を差し伸べることを大切にしながら、いじめの未然防止に努めてまいります。お子さんのことで気にかかることがあれば、どうぞ遠慮なくご相談ください。</p>
⑧ ⑨ ⑩	<p><b>【健やかな体の育成】(体) 好きになる、やいなくなる体力づくりから</b></p> <p>◇「健康に気をつけ、進んで運動をする(グラフ⑧)」では、保護者と教職員からおおよそ 90%前後の肯定的なご回答をいただきました。今年度からの体育専科による指導の工夫や翔陽中との連携授業、おびひろスクールコラボ事業の活用等は児童の運動への関心・意欲を高めることにつながり、授業中や休み時間に楽しそうに運動に取り組む児童の姿が増えてきています。一方で、児童の 20%が運動に対して否定的な回答をしていることから、運動への関心に個人差が見られること、継続的に運動に親しんでいない児童が見受けられることが課題としてあげられます。今後は、学級での体力づくりの時間や休み時間の遊び方を工夫し、すべての児童が楽しく運動する機会を増やすとともに、ご家庭でも運動を楽しむ取組へのご協力をお願いしながら、児童の体力づくりや運動への興味・関心の幅を広げていきたいと考えております。</p> <p>◇「安全指導・防災教育(グラフ⑨)」については、児童・保護者・教職員のいずれからも 90%以上の肯定的な評価をいただいております。学校では「危機管理の基本は日々の児童への小さな対応から」という意識のもと、日常的な安全指導や防災教育を丁寧に行っています。今後も、校内の安全確認や避難訓練、通学路の安全確認、不審者対応の指導などを実施し、実践的な取り組みを通じて、児童が安心して学校生活を送れる環境づくりを進めてまいります。</p>
⑩	<p><b>【信頼され開かれた学校づくりと、よきよき学びの環境づくり】(信・地) 目標を共有し、学校・家庭・地域が連携協働する組織づくりから</b></p> <p>◇保護者の皆様には、PTA サポーター活動や朝の見守り活動などにご協力いただき、心より感謝申し上げます。「学校は、各種たよりの発行やホームページなどを通して、家庭や地域に学校の方針や子どもの様子を分かりやすく伝えている(グラフ⑩)」の項目においては、保護者・教職員ともにほぼ 100%の肯定的な評価をいただきました。日頃の情報発信に対し、高い評価をいただいていることを嬉しく思っております。今後は、学校公開や発信の機会を積極的に設けながら、地域学校協働活動やおびひろスクールコラボなども活用し、学校・家庭・地域が一体となって児童を育てていく環境づくりをさらに進めてまいります。</p>